

注3

大学番号：012

[平成26年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

意見伺い

秋田大学 国際資源学部

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 秋田大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 国際資源学部事務部

職名・氏名 総括主査 藤 嶋 幸 成

電話番号 018-889-2214

（夜間） 018-889-2214

F A X 018-889-3012

e-mail k-shigen@jimu.akita-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況, 経費	15
4	既設大学等の状況	16
5	教員組織の状況	18
6	留意事項に対する履行状況等	34
7	その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

(2) 大学名

秋田大学

(3) 大学の位置

〒010-8502

秋田県秋田市手形学園町1番1号

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヨシムラ ノボル) 吉村昇 (平成20年4月)	(サワダ ケンイチ) 澤田賢一 (平成26年4月)	【平成26年4月1日】 学長の任期満了に伴う変更 (26)
学部長		(サトウ トキユキ) 佐藤時幸 (平成26年4月)	【平成26年4月1日】 学部長の選出に伴う変更(26)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合 (平成26年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際資源学部 国際資源学科 学士 (資源学)	4年	120人	— 年次人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	120 (-) [-]								1.05倍	
志願者数	457 (-) [8]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	298 (-) [8]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	136 (-) [5]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	127 (-) [5]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.05									

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[5] 127	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[5] 127	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	127 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		%
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		%
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		%
合 計	127 人	0 人					%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<国際資源学部 国際資源学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目 主題別科目	初年次ゼミ	1前	2			17	10 11	1	6 5		担当教員の退職のため准教授1名減員(26) 内容の充実を図るため助教1名追加(26) 担当 Jason Tacker (助教) 平成26年1月 教員審査済 判定可
	現代社会 教養ゼミナール1 (現代社会)	1・2前後		1							兼1 責任教員の交代による教員変更(26)
	教養ゼミナール2 (現代社会)	1・2前後		2							兼1 責任教員の交代による教員変更(26)
	くらしと法	1・2前後		2							兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前後		2							兼2
	現代社会と法	1・2前		2							兼1
	現代社会と経済 I	1・2・3・4前後		2							兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	現代社会と経済 II 現代社会と経済	1・2・3・4前		2							兼1 カリキュラム編成調整による科目名称の変更(26) 責任教員の交代による教員変更(26)
	現代社会と政治	1・2・3・4前後		2							兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	マクロ経済学入門	1・2・3・4前 1・2前		2							兼1 高年次学生も履修できる内容とするため配当年次変更(26)
	日本と諸外国の政治 I	1・2・3・4前		2		1					
	日本と諸外国の政治 II	1・2・3・4後		2		1					
	国際政治経済	1・2・3・4前		2		1					
	大学生活と学習	1・2・3・4前		2							兼1
社会と家族	1・2後		2							兼1	
倫理リテラシー	1前		2							兼1 3 カリキュラム編成調整による担当教員の変更のため2名減員(26)	
男女共同参画社会論	1・2・3・4後		1							兼1	
フィールド情報学入門	1・2・3・4前		2							兼1 授業内容が「現代社会」に該当するため科目区分を変更(26)	
人間と文化	教養ゼミナール1 (人間と文化)	1・2前後		1							兼1 責任教員の交代による教員変更(26)
	教養ゼミナール2 (人間と文化)	1・2前後		2							兼1 責任教員の交代による教員変更(26)
	心理学 I	1前		2							兼1
	心理学 II	1・2後		2							兼3 昇任による職名(准教授1名)の変更(26)
	人間関係論 I	1・2・3・4前		2							兼1
	人間関係論 II	1・2・3・4後		2							兼1
	文学論	1・2・3・4後		2							兼1
	日本の近代文学	1・2後		2							兼1
	日本語表現の諸相	1・2後		2							兼1
	日本の古典文学	1・2前		2							兼1
	教育学 I	1前		2							兼1
	教育学 II	1・2後 1・2前		2							兼2 4 カリキュラム編成調整により開講期を変更(26) 内容の充実を図るため担当教員を1名追加(26)
	芸術と文化 I	未開講 1・2前		2							兼1 教員が退職したため26年度未開講(26)
	芸術と文化 II	未開講 1・2後		2							兼1 教員が退職したため26年度未開講(26)

芸術と文化Ⅲ	1・2前後	2							兼 1		
情報デザイン入門	1・2・3・4前	2							兼 1		
倫理と人間	1前	2							兼 1		
欧米の歴史	1・2前	2							兼 1		
科学史・科学哲学	1・2前	2							兼 1		
障害と共生Ⅰ	未開講 1→2前	2							兼 1	カリキュラム編成調整により26年度未開講(26)	
障害と共生Ⅱ	1・2・3前	2							兼 1		
人権と共生	1・2・3・4後	1							兼 1		
多文化コミュニケーション入門Ⅰ	1・2前	2							兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)	
多文化コミュニケーション入門Ⅱ	1・2後	2							兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)	
多文化間交流論Ⅰ	1・2前	2	1								
多文化間交流論Ⅱ	1・2後	2	1								
日本文化入門Ⅰ	1・2前	2							兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)	
日本文化入門Ⅱ	1・2後	2							兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)	
日本社会入門Ⅰ	1・2前	2							兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)	
日本社会入門Ⅱ	1・2後	2							兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)	
日本語教育学入門Ⅰ	1・2・3・4前	2							兼 1	昇任による職名(准教授1名)の変更(26)	
日本語教育学入門Ⅱ	1・2・3・4後	2							兼 1	昇任による職名(准教授1名)の変更(26)	
科学の探究	教養ゼミナール1(科学の探究)	1・2前後	1						兼 1	責任教員の交代による教員変更(26)	
	教養ゼミナール2(科学の探究)	1・2前後	2						兼 1	責任教員の交代による教員変更(26)	
	自然環境と資源Ⅰ	1前後 1前	2						兼 1	履修希望者が多いため開講期を追加(26)	
	自然環境と資源Ⅱ	1後	1						兼 1		
	天体観測入門	1前	1						兼 1		
	地球の環境と資源Ⅰ	1・2・3・4前	2	3							
	地球の環境と資源Ⅱ	1・2・3・4前	1	4							
	環境と社会	1・2・3・4前後	1						兼 6	昇任による職名(教授1名)の変更(26)	
	ライフサイエンスⅠ	1前	2						兼 1		
	ライフサイエンスⅡ	1前後	1						兼 1		
	衣生活の科学	1・2前 1前	2						兼 1	履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26)	
	化学の世界	1・2・3・4前	1						兼 2		
	材料の世界	1・2・3・4前	1						兼 3		
	情報工学の世界	1・2・3・4前	1						兼 1		
	コンピュータの科学	1・2前後	2						兼 2		
	星の世界	1・2後 1→2前	2						兼 1	カリキュラム編成調整により開講期を変更(26)	
	自然環境と住まい	1・2後 1後	2						兼 1	履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26)	
	資源循環と科学	1・2・3・4前	1	2					兼 6	教員の退職による担当教員1名の変更(26)	
	生活と保健	教養ゼミナール1(生活と保健)	1・2前後	1						兼 1	責任教員の交代による教員変更(26)
		教養ゼミナール2(生活と保健)	1・2前後	2						兼 1	責任教員の交代による教員変更(26)
食と健康		1・2・3・4前	2						兼 1		
医学と健康Ⅰ		1・2・3・4前後	1						兼 4	昇任による職名(教授1名)の変更(26)	
医学と健康Ⅱ		1・2・3・4前	1						兼 8 7	内容の充実を図るため担当教員を1名追加(26) 教員の退職による担当教員1名の変更(26)	

	医学と健康Ⅲ	1・2・3・4後	2							兼 8 6	カリキュラム編成調整により開講期を変更 内容の充実を図るため担当教員を2名追加(26) 教員の退職による担当教員1名の変更(26)
	医学と健康Ⅳ	1・2・3・4前	2							兼 14	
	がん医療と緩和ケア	1・2・3・4後	2							兼 7	教員の退職による担当教員1名の変更(26)
	大学生と健康	1・2・3・4前後	2							兼 7	カリキュラム編成調整による担当教員1名の変更
	生命と健康Ⅰ	1・2・3・4前	1							兼 5	カリキュラム編成調整による担当教員の変更
	生命と健康Ⅱ	1・2・3・4前	1							兼 5	
	がん治療	1・2・3・4前	2							兼 4	昇任による職名(教授1名)の変更(26)
	外科手術と手術機器の進化	1・2・3・4後	2							兼 4 3	内容の充実を図るため担当教員を1名追加(26) カリキュラム編成調整による担当教員1名の変更(26) 昇任による職名(教授1名、准教授1名)の変更(26)
地域社会	教養ゼミナール1(地域社会)	1・2前後	1							兼 1	責任教員の交代による教員変更(26)
	教養ゼミナール2(地域社会)	1・2前後	2							兼 1	責任教員の交代による教員変更(26)
	社会と地域	1・2前後	2							兼 1	
	地理と地誌Ⅰ	1・2・3・4前 1→2前	2							兼 1	履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26)
	地理と地誌Ⅱ	1・2・3・4前	2							兼 1	
	地域と食文化	1・2後	2							兼 1	
	秋田の歴史	1・2・3・4前	1							兼 1	
	秋田の自然と文化	1・2・3・4前後	1		3					兼 6	カリキュラム編成調整による担当教員1名の変更(26)
	防災学基礎Ⅰ	1・2・3・4前 1→2前	1							兼 1	履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26) カリキュラム編成調整による担当教員の変更(26)
	防災学基礎Ⅱ	1・2・3・4前 1→2前	1							兼 1	履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26) 昇任による職名(教授1名)の変更(26)
技能の活用	教養ゼミナール1(技能の活用)	1・2前後	1							兼 1	責任教員の交代による教員変更(26)
	教養ゼミナール2(技能の活用)	1・2前後	2							兼 1	責任教員の交代による教員変更(26)
	日本語リテラシーⅠ	1・2・3・4前	2							兼 3 2	内容の充実を図るため担当教員を1名追加(26)
	日本語リテラシーⅡ	1・2後	2							兼 4 3	内容の充実を図るため担当教員を1名追加(26)
	コミュニケーショントレーニング	1・2前	1							兼 1	
	秋田大学論	1・2・3・4後	1							兼 1	責任教員の交代による教員変更(26)
	情報と知識・技術Ⅰ	1・2・3・4前後	1							兼 1	
	情報と知識・技術Ⅱ	1・2・3・4前	1							兼 1	
	フィールド情報学入門	1→2→3→4後	2							兼 4	授業内容が「現代社会」に該当するため科目区分を変更(26)
	キャリアデザイン基礎	1後	1							兼 1	
	キャリアデザインⅠ	2前	1							兼 1	
	キャリアデザインⅡ	2前	1							兼 1	
	キャリアデザイン総論	2後	2							兼 1	
	留学生のための課題研究Ⅰ	1・2・3・4後 1→2→3→4後	2							兼 1	留学生の入学時期に合わせて開講期を変更(26) 教員の退職による担当教員の変更(26)
	留学生のための課題研究Ⅱ	1・2・3・4後 1→2→3→4後	2							兼 1	留学生の入学時期に合わせて開講期を変更(26) 教員の退職による担当教員の変更(26)

	海外短期研修	1・2後	2					兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)
入門 外国語	ドイツ語 I	1前	2			↓		兼 2 ↓	教員の退職による担当教員1名の変更(26)
	フランス語 I	1前	2					兼 1	
	ロシア語 I	1前	2					兼 1	
	中国語 I	1前	2					兼 4 ↓	複数クラス開講するため担当教員を3名追加(26)
	朝鮮語 I	1前	2					兼 1	
	日本語 1	1・2・3・4前後	4					兼 1 2	担当教員の退職のため准教授1名減員(26)
外国語活用演習	文系英会話	1・2後	2					兼 3 2	内容の充実を図るため担当教員を1名追加(26)
	理系英会話	2前	2					兼 1	
	英語特別演習	1・2前	2					兼 2 ↓	内容の充実を図るため担当教員を1名追加(26)
	ドイツ語 II	1後	2					兼 1	
	フランス語 II	1後	2					兼 1	
	ロシア語 II	1後	2					兼 1	
	中国語 II	1後	2					兼 1	カリキュラム編成調整による担当教員の変更(26)
	朝鮮語 II	1後	2					兼 1	内容の充実を図るため担当教員を変更(26)
	日本語 2	1・2・3・4前後	4					兼 2	教員の退職による担当教員2名の変更(26)
	日本語 2 総合	1・2・3・4前後	1					兼 1	カリキュラム編成調整による担当教員の変更(26)
	ドイツ語会話 I	1前	1			↓		兼 1	教員の退職による担当教員1名の変更(26)
	ドイツ語会話 II	1後	1			↓			教員の退職による担当教員の変更(後任選考中)(26)
	フランス語会話 I	1前	1					兼 1	
	フランス語会話 II	1後	1					兼 1	
	ロシア語会話 I	1前	1					兼 1	内容の充実を図るため教員を変更(26)
	ロシア語会話 II	1前 1後	1					兼 1	カリキュラムの編成調整により開講期を変更(26) 内容の充実を図るため教員を変更(26)
	中国語会話 I	1前	1					兼 1	
	中国語会話 II	1後	1					兼 1	
	朝鮮語会話 I	1前	1					兼 1	内容の充実を図るため教員を変更(26)
	朝鮮語会話 II	1後	1					兼 1	内容の充実を図るため教員を変更(26)
	実践ドイツ語会話 I	2前	1			↓		兼 1	教員の退職による担当教員1名の変更(26)
	実践ドイツ語会話 II	2後	1			↓			教員の退職による担当教員の変更(26)
	実践中国語会話 I	2前	1					兼 1	
実践中国語会話 II	2後	1					兼 1		
実践朝鮮語会話 I	2前	1					兼 1	内容の充実を図るため教員を変更(26)	
実践朝鮮語会話 II	2後	1					兼 1	内容の充実を図るため教員を変更(26)	
	日本語 3	1・2・3・4前後	4					兼 2	昇任による職名(准教授1名)の変更(26) 教員の退職による担当教員1名の変更(26)
	日本語 3 総合	1・2・3・4前後	1					兼 1	昇任による職名(准教授1名)の変更(26)
文献講読	社会心理学外国語文献演習	2・3後 2・3前	1					兼 1	カリキュラム編成調整により開講期を変更(26) 昇任による職名(准教授1名)の変更(26)
	臨床心理学外国語文献演習	2・3前 2・3後	1					兼 1	カリキュラム編成調整により開講期を変更(26)

	生理心理学外国語文献講読Ⅰ	2・3・4前 1前	1						兼 1	高年次向けの内容とするため配当年次変更(26)
	生理心理学外国語文献講読Ⅱ	2・3・4前 1前	1						兼 1	高年次向けの内容とするため配当年次変更(26)
	発達心理学外国語文献演習	2・3・4前 3前	1						兼 1	履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26)
	認知心理学外国語文献演習	2・3・4後 3後	1						兼 1	履修の選択肢を増やすため配当年次を変更(26)
	科学教育文献講読	2・3・4後	2						兼 1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
日本語	日本語4-I	1・2・3・4前	2						兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)
	日本語4-II	1・2・3・4後	2						兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)
	日本語4-III	1・2・3・4前	2						兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)
	日本語4-IV	1・2・3・4後	2						兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)
	日本語4-V	1・2・3・4前	1						兼 1	昇任による職名(准教授1名)の変更(26)
	日本語4-VI	1・2・3・4後	1						兼 1	昇任による職名(准教授1名)の変更(26)
	日本語5-I	1・2・3・4前	1						兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)
	日本語5-II	1・2・3・4後	1						兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)
	日本語5-III	1・2・3・4前	1						兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)
	日本語5-IV	1・2・3・4後	1						兼 1	教員の退職による担当教員の変更(後任選考中)(26)
	日本語5-V	1・2・3・4前	1						兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)
	日本語5-VI	1・2・3・4後	1						兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)
	日本語5-VII	1・2・3・4前	1						兼 1	教員の退職による担当教員の変更(後任選考中)(26)
	日本語5-VIII	1・2・3・4後	1						兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)
日本語5-IX	1・2・3・4前	1						兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)	
日本語5-X	1・2・3・4後	1						兼 1	教員の退職による担当教員の変更(26)	
スポーツ文化科目	スポーツ実技Ⅰ	1前	1						兼 10	
	スポーツ実技Ⅱ	2前	1						兼 8	
	スポーツ理論Ⅰ	1後	2						兼 7 兼 8	カリキュラム編成調整による担当教員の変更のため1名減員(26)
	スポーツ理論Ⅱ	1後	1						兼 7	カリキュラム編成調整による担当教員1名の変更
基礎教育科目	I-EAPⅠ	1前	1		1			2 1	兼 2	英語教育の充実のため助教1名を追加(26) 担当 Jason Tacker(助教) 平成26年1月 教員審査済 判定可
	I-EAPⅡ	1前	1		1			2 1	兼 2	英語教育の充実のため助教1名を追加(26) 担当 Jason Tacker(助教) 平成26年1月 教員審査済 判定可
	I-EAPⅢ	1後	1		1			2 1	兼 2	英語教育の充実のため助教1名を追加(26) 担当 Jason Tacker(助教) 平成26年1月 教員審査済 判定可
	I-EAPⅣ	1後	1		1			2 1	兼 2	英語教育の充実のため助教1名を追加(26) 担当 Jason Tacker(助教)

																			平成26年1月 教員審査済 判定 可		
	I-EAPV	2前	1			1					2 ↓			兼 2	英語教育の充実のため助教1名を 追加(26)				担当 Jason Tacker (助教) 平成26年1月 教員審査済 判定 可		
	I-EAPVI	2前	1			1					2 ↓			兼 2	英語教育の充実のため助教1名を 追加(26)				担当 Jason Tacker (助教) 平成26年1月 教員審査済 判定 可		
	国際資源外交史	1後		2		1															
	異文化コミュニケーション	1前		2		1															
	資源開発と人権問題	2後		2			1														
	基礎資源経済学	2前		2		1															
	日本の国際協力	1後		2			1														
	基礎数学(資源政策)	1前		2		1															
	基礎数学I	1前		2										兼 1							
	基礎数学II	1前		2										兼 1	カリキュラム編成調整による担当 教員の変更						
	基礎数学III	1後		2										兼 1	カリキュラム編成調整による担当 教員の変更						
	基礎数学IV	1後		2										兼 1	カリキュラム編成調整による担当 教員の変更						
	基礎数学V	2前		2										兼 1	カリキュラム編成調整による担当 教員の変更						
	基礎物理学(資源政策)	1後		2					1												
	基礎物理学I	1後		2		1															
	基礎物理学II	2前		2						1											
	基礎物理学実験	1前		1		1															
	基礎化学(資源政策)	1前		2		1															
	基礎化学I	1前		2		1															
	基礎化学II	1後		2		1															
	基礎化学III	2前		2			1														
	基礎化学実験	1後		1		1															
専 門 教 育 科 目	学 部 共 通 科 目	国際関係論概論	1・2後		2		1														
		資源地域社会学概論	1・2前		2		1														
		地球科学概論	1・2前		2		1	1													
		資源地質学概論	1・2後		2		2														
		資源開発環境学概論	1・2前	2			6	3			2										
		国際情勢特別講義	1・2前		1		1														
		資源学実習	1後	1			13	6	1		4										
		国際資源クリエイティブ演習	3通	1			17	10	1		4										
		海外資源フィールドワーク	3通	4			17	10	1		4										
		ディスカッション演習	2後		1		1					2 ↓				内容の充実を図るため助教1名を 追加(26)				担当 Jason Tacker (助教) 平成26年1月 教員審査済 判定 可	
		ディベート演習	3前		1		1					2 ↓				内容の充実を図るため助教1名を 追加(26)				担当 Jason Tacker (助教) 平成26年1月 教員審査済 判定 可	
		資 源 政 策 コ ー ス 専 門 科 目	資 源 政 策 論	資源政策論	2前	2		1													
				国際法学	2前	2			1												
				国際経済学	2前	2				1											
				比較政治論	2後	2	2		1												
				国際情勢分析論	3後	2			1												
				国際協力論	2前	2				1											
開発経済学	3前				2					1											
文化人類学	2前				2					↓						担当教員の退職のため1名減員 (後任選考中)(26)					
鉱業法	3前			2						1											
資源契約論	3前				2					1											

交渉学	2後		2			1							
資源動向論	2前		2			1							
石油資源論	2前		2			1							
エネルギー地政学	2後		2			1							
オペレーションリスクマネジメントⅠ－HSE－	3前	1										兼1	
オペレーションリスクマネジメントⅡ－危機管理学－	4前		1									兼1	
資源環境経済学	3前	2				1							
資源プロジェクトマネジメント	4前		2			1							
社会調査法Ⅰ	2後		2			+							担当教員の退職のため1名減員 (後任選考中) (26)
社会調査法Ⅱ	3前		2										
資源地域研究 (アフリカ)	2後		2			1							
資源地域研究 (東南アジア)	2前		2			1							
資源地域研究 (中東・西アジア)	2前		2			1							
資源地域研究 (中南米)	2後		2			1							
応用資源地域研究 (イスラム社会史)	3前		2			1							
応用資源地域研究 (資源開発とコミュニティ)	3前		2			1							
応用資源地域研究 (国家と宗教)	3前		2			1							
応用資源地域研究 (比較社会学)	3後		2			+							担当教員の退職のため1名減員 (後任選考中) (26)
複文化社会研究Ⅰ	2前		2			1							
複文化社会研究Ⅱ	3前		2			1							
文化間ミディエーション論Ⅰ	2前	2				1							
文化間ミディエーション論Ⅱ	3後		2			1							
人的資源管理論	3・4前		2									兼1	
資源政策特別講義Ⅰ	3・4前		1									兼1	
資源政策特別講義Ⅱ	3・4後		1									兼1	
国際協力特別講義	3・4後		2									兼1	
資源地域研究特別講義	3・4前		2									兼1	
開発経済学特別講義	3・4前		2									兼1	
専門プレゼンテーション技法 (資源政策)	3後	1				6	4 5			2 +			担当教員の退職のため准教授1名 減員 (26) 内容の充実を図るため助教1名を 追加 (26) 担当 Jason Tacker (助教) 平成26年1月 教員審査済 判定 可
卒業課題研究 プレゼミ	3後	2				6	4 5						担当教員の退職のため准教授1名 減員 (26)
研究プロポーザル (資源政策)	4通	2				6	4 5						担当教員の退職のため准教授1名 減員 (26)
卒業課題研究 (資源政策)	4通	8				6	4 5						担当教員の退職のため准教授1名 減員 (26)
資源地球科学コース専門科目													
地史学	2後	2				1							
地質図学	2後	2				1							
石油地質学Ⅰ	2後	2				1	1						
石油地質学Ⅱ	3後		2			1	1						
古環境解析学	3後		2			1							
堆積学	3前	2				1							
構造地質学	3前		2					1					
石油探査学	4前		2			1	1						
応用古生物学	4前		2			1							
古生物学実験	2後	1					1						
石油鉱床学実験	3前	1				1	1						
地史解析学実験	3後		1			1	1						
鉱物学	2前	2				1							
金属鉱床学Ⅰ	2後	2				1							
金属鉱床学Ⅱ	3後		2			1							
X線結晶学	3前	2				1				1			
応用金属鉱床学	4前		2							1			
応用鉱物学	4前		2			1							
鉱物学実験	2前	1				1						兼1	
金属鉱床学実験	3前	1								1			
岩石学Ⅰ	2前	2				1							
岩石学Ⅱ	3前		2				1						
応用岩石学	4前		2				1						

	岩石学実験	2前	1			1			1				
	岩石鉱物鉱床実験	3後		1					2				
	資源地球科学文献講読Ⅰ	3前	1				1						
	資源地球科学文献講読Ⅱ	3前	1						1				
	専門プレゼンテーション技法(資源地球科学)	3後	1			5	3	1	2				
	地質調査法実習A	3前	2			5	3	1	2				
	進級論文	3前	4			5	3	1	2				
	リモートセンシング地質学	3・4前		1								兼1	
	炭酸塩岩調査法	3・4前		1								兼1	
	資源地球科学特別講義Ⅰ	3・4前		1								兼1	
	資源地球科学特別講義Ⅱ	3・4後		1								兼1	
	防災地質学	3・4後		1								兼1	
	研究プロポーザル(資源地球科学)	4通	2			5	3	1	2				
	卒業課題研究(資源地球科学)	4通	8			5	3	1	2				
資源開発環境コース専門科目	材料力学	2前	2			1							
	流体力学	2前	2			1							
	物理化学	2前	2			1							
	分析化学	2後		2			1						
	地球物理学	2前	2			1							
	工業製図	2後		2								兼1	
	物理探査学Ⅰ	3前		2			1						
	物理探査学Ⅱ	3後		2					1				
	資源探査学	3前		2		1							
	石油工学	2後		2		1							
	計算機プログラミング	3後 3前		1						1			カリキュラム編成調整により開講期を変更(26)
	熱工学	2後		2								兼1	
	地熱工学	3後		2		1							
	岩石力学	3前		2			1						
	岩盤工学	3後		2		1							
	測量学および実習Ⅰ	3前		3								兼1	
	測量学および実習Ⅱ	3後		3								兼1	
	地球化学Ⅰ	2後	2			1							
	地球化学Ⅱ	3前		2								兼1	
	粉体・界面工学	2前		2								兼1	
	資源処理工学	2後	2			1							
	リサイクル・廃水処理工学	3前		2		1							
	製錬プロセス工学	3前		2		1							
	素材開発工学	3前		2								兼1	
	工学基礎実験	2後	1			6	3		2				
	資源開発環境実験Ⅰ	3前	2			6	3		2				
	資源開発環境実験Ⅱ	3後	2			6	3		2				
	資源開発環境文献講読	4前	1			6	3		2				
	専門プレゼンテーション技法(資源開発環境)	3後	1			6	3		2				
	資源開発環境学特別講義Ⅰ	3・4前		1								兼1	
	資源開発環境学特別講義Ⅱ	3・4後		1								兼1	
	資源開発環境学特別講義Ⅲ	3・4後		1								兼1	
	資源開発環境学特別講義Ⅳ	3・4後		1								兼1	
	資源開発生産論	3後		2								兼1	
	資源循環学	3後		1								兼1	
	火薬学	3後		2								兼1	
	リサイクルシステム学	3後		1								兼1	
	鉱業史	3・4前		2								兼1	
	地質調査法実習B	2前		2		5	3	1	2				
	研究プロポーザル(資源開発環境)	4通	2			6	3		2				
	卒業課題研究(資源開発環境)	4通	8			6	3		2				
	学部外科目	物質情報処理学	3前 3後		2							兼1	カリキュラム編成調整により開講期を変更(26)
品質管理		4前		2							兼1		
金属材料工学概論		3前		2							兼1		
機械工学概論Ⅰ		2前		2							兼1		
電気工学概論		3前		2							兼1		
電子工学概論		3後		2							兼2		
電気・電子実験		3前		1							兼19		
制御システム工学		3前		2							兼1		
コンピュータアーキテクチャ		3・4後		2							兼1		

応用物理学概論	2後 2前	2							兼1	カリキュラム編成調整により開講期を変更(26)
応用数学Ⅰ	3前	2							兼1	
応用数学Ⅱ	3後	2							兼1	
確率統計	3前	2							兼1	
数理計画法	3前	2							兼1	
数値計算	3前	2							兼1	
技術史	3・4前	2							兼1	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
56	281	0	337	56	284	0	340	
				[0]	[3]	[0]	[3]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	芸術と文化Ⅰ	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため。
2	芸術と文化Ⅱ	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため。
3	障害と共生Ⅰ	2	1・2前	一般	選択	カリキュラム編成調整を行ったため。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については，教養教育科目に位置付ける科目であり，他に選択可能な科目が複数あることから，履修上の影響はないと考える。
 学生に対しては，教養基礎教育学習ガイドへの記載や総合学務システム「a-net」上での掲示により，十分な周知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.01}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	258,144 m ²	0 m ²	0 m ²	258,144 m ²				
	運動場用地	76,253 m ²	0 m ²	0 m ²	76,253 m ²				
	小 計	334,397 m ²	0 m ²	0 m ²	334,397 m ²				
	そ の 他	104,058 m ²	0 m ²	0 m ²	104,058 m ²				
	合 計	438,455 m ²	0 m ²	0 m ²	438,455 m ²				
(2) 校 舎	専 用	132,654 m ²	0 m ²	0 m ²	132,654 m ²				
	(132,654 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(132,654 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	99室	演 習 室 130室	実験実習室 543室	情報処理学習施設 14室 (補助職員 4人)	語学学習施設 6室 5室 1人 (補助職員 0人)	大学全体 語学学習の充実を図る ため。(26)		
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 国際資源学部		室 数 34 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を 含む	
	国際資源学部	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	730 (688)	19,370 (19,170)		
	計	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	730 (688)	19,370 (19,170)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	6,321 m ²		652		582,537				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	7,908 m ²		陸上競技場, 野球場, 多目的運動場, テニスコート, プール						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金） による
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋 田 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
国際資源学部								秋田市手形学園町1番1号	
国際資源学科	4	120	—	120	学士(資源学)	1.05	平成26		
教育文化学部								秋田市手形学園町1番1号	
学校教育課程	4	110	—	410	学士(学校教育)	1.04	平成10		平成26年度入学定員変更
地域文化学科	4	100	—	100	学士(地域文化)	1.03	平成26		
地域科学課程	4	—	—	—	学士(地域科学)	—	平成10		平成26年度より学生募集停止
国際言語文化課程	4	—	—	—	学士(国際言語文化)	—	平成10		
人間環境課程	4	—	—	—	学士(人間環境)	—	平成10		
医学部								秋田市本道一丁目1の1	
医学科	6	122	2年次 5	734	学士(医学)	1.00	昭和45		平成26年度入学定員変更
保健学科	4	106	3年次 14	452	学士(保健学) 学士(看護学)	1.00	平成14		
理工学部								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学科	4	45		45	学士(理学)	0.97	平成26		
物質科学科	4	110		110	学士(理工学)	1.04	平成26		
数理・電気電子情報学科	4	120		120	学士(理学) 学士(工学)	1.12	平成26		
システムデザイン工学科	4	120		120	学士(工学)	1.12	平成26		
各学科共通			3年次 12	—					
工学資源学部								秋田市手形学園町1番1号	
地球資源学科	4	—	—	—	学士(資源学) 学士(工学)	—	平成10		平成26年度より学生募集停止
環境応用化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20		
生命化学科	4	—	—	—	学士(工学) 学士(理学)	—	平成20		
材料工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10		
情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10		
機械工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10		
電気電子工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10		
土木環境工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10		
各学科共通			3年次 12	24					
大学院教育学研究科 (修士課程)								秋田市手形学園町1番1号	
学校教育専攻	2	13	—	26	修士(教育学)	0.80	平成元		
教科教育専攻	2	31	—	62	修士(教育学)	0.59	平成元		

大学院医学系研究科								秋田市本道一丁目1の1	
(修士課程)									
医科学専攻	2	5	—	10	修士(医科学)	0.30	平成19		
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	12	—	24	修士(看護学) 修士(リハビリテーション科学)	1.04	平成19		
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	—	9	博士(保健学)	1.22	平成21		
(博士課程)									
医学専攻	4	30	—	120	博士(医学)	1.13	平成19		
大学院工学資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)									
地球資源学専攻	2	17	—	34	修士(工学) 修士(資源学)	0.91	平成14		
環境応用化学専攻	2	20	—	40	修士(工学)	0.80	平成24		
生命科学専攻	2	12	—	24	修士(理学)	0.95	平成24		
材料工学専攻	2	23	—	46	修士(工学)	1.08	平成14		
情報工学専攻	2	16	—	32	修士(工学)	0.81	平成14		
機械工学専攻	2	26	—	52	修士(工学)	0.95	平成14		
電気電子工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	0.76	平成14		
土木環境工学専攻	2	11	—	22	修士(工学)	0.49	平成14		
共同ライフサイクルデザイン工学専攻	2	12	—	24	修士(工学)	0.58	平成24		秋田県立大学との入学定員の合計は17名、 収容定員は34名。
大学院工学資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	4	—	12	博士(工学) 博士(資源学)	0.91	平成14		
生命科学専攻	3	3	—	3	博士(理学)	1.33	平成26		
機能物質工学専攻	3	3	—	11	博士(工学)	0.36	平成14		} 平成26年度入学定員変更
生産・建設工学専攻	3	3	—	11	博士(工学)	0.44	平成14		
電気電子情報システム工学専攻	3	3	—	11	博士(工学)	0.58	平成14		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・ 大学においては学科単位、大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<国際資源学部 国際資源学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	安達 毅	平成26年4月	初年次ゼミ 基礎資源経済学 基礎数学(資源政策) 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 資源環境経済学 資源プロジェクトマネジメント 専門プレゼンテーション技法(資源政策) 卒業課題研究プレゼミ 研究プロポーザル(資源政策) 卒業課題研究(資源政策)						
専	教授	内田 隆	平成26年4月	初年次ゼミ 地球の環境と資源Ⅰ※ 秋田の自然と文化※ 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 石油資源論 エネルギー地政学 専門プレゼンテーション技法(資源政策) 卒業課題研究プレゼミ 研究プロポーザル(資源政策) 卒業課題研究(資源政策)						
専	准教授	小山 健一	平成26年4月	初年次ゼミ 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 鉱業法 資源契約論 交渉学 資源動向論 資源地域研究(中南米) 専門プレゼンテーション技法(資源政策) 卒業課題研究プレゼミ 研究プロポーザル(資源政策) 卒業課題研究(資源政策)						
専	教授	中村 裕	平成26年4月	初年次ゼミ 日本と諸外国の政治Ⅰ 日本と諸外国の政治Ⅱ 国際資源外交史 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 資源政策論 比較政治論 専門プレゼンテーション技法(資源政策) 卒業課題研究プレゼミ 研究プロポーザル(資源政策) 卒業課題研究(資源政策)						
専	教授	縄田 浩志	平成26年4月	初年次ゼミ 国際政治経済 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 国際情勢分析論 資源地域研究(中東・西アジア) 応用資源地域研究(イスラム社会史) 専門プレゼンテーション技法(資源政策) 卒業課題研究プレゼミ 研究プロポーザル(資源政策) 卒業課題研究(資源政策)						
専	教授	三宅 良美	平成26年4月	初年次ゼミ I-EAPⅠ I-EAPⅡ I-EAPⅢ I-EAPⅣ I-EAPⅤ I-EAPⅥ 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク ディスカッション演習 ディベート演習 資源地域研究(東南アジア) 文化間コミュニケーション論Ⅰ 文化間コミュニケーション論Ⅱ 専門プレゼンテーション技法(資源政策) 卒業課題研究プレゼミ 研究プロポーザル(資源政策) 卒業課題研究(資源政策)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	宮本 律子	平成26年4月	初年次ゼミ 多文化間交流論Ⅰ 多文化間交流論Ⅱ 異文化コミュニケーション 国際情勢特別講義 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 複文化社会研究Ⅰ 複文化社会研究Ⅱ 専門プレゼンテーション技法(資源政策) 卒業課題研究プレゼミ 研究プロポーザル(資源政策) 卒業課題研究(資源政策)						
専	教授	荒戸 裕之	平成26年4月	初年次ゼミ 資源地質学概論 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 石油地質学Ⅰ 石油地質学Ⅱ 堆積学 石油探査学 石油鉱床学実験 専門プレゼンテーション技法(資源地球科学) 地質調査法実習A 進級論文 研究プロポーザル(資源地球科学) 卒業課題研究(資源地球科学) 地質調査法実習B						
専	教授	今井 亮	平成26年4月	初年次ゼミ 秋田の自然と文化※ 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 金属鉱床学Ⅰ 金属鉱床学Ⅱ 応用鉱物学 鉱物学実験 専門プレゼンテーション技法(資源地球科学) 地質調査法実習A 進級論文 研究プロポーザル(資源地球科学) 卒業課題研究(資源地球科学) 地質調査法実習B						
専	教授	大場 司	平成26年4月	初年次ゼミ 地球の環境と資源Ⅰ※ 基礎化学(資源政策) 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 岩石学Ⅰ 岩石学実験 専門プレゼンテーション技法(資源地球科学) 地質調査法実習A 進級論文 研究プロポーザル(資源地球科学) 卒業課題研究(資源地球科学) 地質調査法実習B						
専	教授	佐藤 時幸	平成26年4月	初年次ゼミ 地球の環境と資源Ⅰ※ 地球の環境と資源Ⅱ※ 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 古環境解析学 応用古生物学 地史解析学実験 専門プレゼンテーション技法(資源地球科学) 地質調査法実習A 進級論文 研究プロポーザル(資源地球科学) 卒業課題研究(資源地球科学) 地質調査法実習B						
専	教授	渡辺 寧	平成26年4月	初年次ゼミ 地球科学概論 資源地質学概論 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 鉱物学 X線結晶学 専門プレゼンテーション技法(資源地球科学) 地質調査法実習A 進級論文 研究プロポーザル(資源地球科学) 卒業課題研究(資源地球科学) 地質調査法実習B						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	石山 大三	平成26年4月	初年次ゼミ 資源循環と科学※ 秋田の自然と文化※ 資源開発環境学概論 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 資源探査学 地球化学Ⅰ 工学基礎実験 資源開発環境実験Ⅰ 資源開発環境実験Ⅱ 資源開発環境文献講読 専門プレゼンテーション技法(資源開発環境) 研究プロポーザル(資源開発環境) 卒業課題研究(資源開発環境)						
専	教授	井上 亮	平成26年4月	初年次ゼミ 基礎化学Ⅱ 資源開発環境学概論 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 物理化学 製錬プロセス工学 工学基礎実験 資源開発環境実験Ⅰ 資源開発環境実験Ⅱ 資源開発環境文献講読 専門プレゼンテーション技法(資源開発環境) 研究プロポーザル(資源開発環境) 卒業課題研究(資源開発環境)						
専	教授	今井 忠男	平成26年4月	初年次ゼミ 地球の環境と資源Ⅱ※ 基礎物理学Ⅰ 基礎物理学実験 資源開発環境学概論 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 材料力学 岩盤工学 工学基礎実験 資源開発環境実験Ⅰ 資源開発環境実験Ⅱ 資源開発環境文献講読 専門プレゼンテーション技法(資源開発環境) 研究プロポーザル(資源開発環境) 卒業課題研究(資源開発環境)						
専	教授	柴山 敦	平成26年4月	初年次ゼミ 地球の環境と資源Ⅱ※ 資源循環と科学※ 基礎化学Ⅰ 基礎化学実験 資源開発環境学概論 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 資源処理工学 リサイクル・廃水処理工学 工学基礎実験 資源開発環境実験Ⅰ 資源開発環境実験Ⅱ 資源開発環境文献講読 専門プレゼンテーション技法(資源開発環境) 研究プロポーザル(資源開発環境) 卒業課題研究(資源開発環境)						
専	教授	西谷 忠師	平成26年4月	初年次ゼミ 資源開発環境学概論 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 地球物理学 工学基礎実験 資源開発環境実験Ⅰ 資源開発環境実験Ⅱ 資源開発環境文献講読 専門プレゼンテーション技法(資源開発環境) 研究プロポーザル(資源開発環境) 卒業課題研究(資源開発環境)						

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	教授	藤井 光	平成26年4月	初年次ゼミ 地球の環境と資源Ⅱ※ 資源開発環境学概論 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 流体力学 石油工学 地熱工学 工学基礎実験 資源開発環境実験Ⅰ 資源開発環境実験Ⅱ 資源開発環境文献講読 専門プレゼンテーション技法(資源開発環境) 研究プロポーザル(資源開発環境) 卒業課題研究(資源開発環境)							
専	准教授	藍澤 淑雄	平成26年4月	初年次ゼミ 日本の国際協力 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 国際経済学 国際協力論 開発経済学 資源地域研究(アフリカ) 専門プレゼンテーション技法(資源政策) 卒業課題研究プレゼミ 研究プロポーザル(資源政策) 卒業課題研究(資源政策)							
専	准教授	Assmann Stephanie	平成26年4月	ドイツ語Ⅰ	兼任	講師	佐藤 三郎	平成26年4月	ドイツ語Ⅰ	平成26年3月 Assmann Stephanie准教授退職による担当教員の変更(26)	
				ドイツ語会話Ⅰ	兼任	講師	遠藤 スサンネ	平成26年4月	ドイツ語会話Ⅰ	平成26年3月 Assmann Stephanie准教授退職に伴う担当教員の変更(26)	
				実践ドイツ語会話Ⅰ							
				ドイツ語会話Ⅱ			後任未定			平成26年3月 Assmann Stephanie准教授退職(26) 平成26年10月の授業に向け学内で選考中	
				実践ドイツ語会話Ⅱ			後任未定			平成26年3月 Assmann Stephanie准教授退職 平成26年12月変更書提出予定(26)	
				文化人類学 社会調査法Ⅰ 応用資源地域研究(比較社会学)			後任未定				
				初年次ゼミ 専門プレゼンテーション技法(資源政策) 卒業課題研究プレゼミ 研究プロポーザル(資源政策) 卒業課題研究(資源政策)			後任未定		平成26年3月 Assmann Stephanie准教授退職(26) 担当授業科目は、複数教員が開講するため、支障はない。		
専	准教授	Scott Morrison	平成26年4月	初年次ゼミ 資源開発と人権問題 国際関係論概論 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 国際法学 応用資源地域研究(国家と宗教) 専門プレゼンテーション技法(資源政策) 卒業課題研究プレゼミ 研究プロポーザル(資源政策) 卒業課題研究(資源政策)							
専	准教授	田所 聖志	平成26年4月	初年次ゼミ 資源地域社会学概論 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 応用資源地域研究(資源開発とコミュニティ) 専門プレゼンテーション技法(資源政策) 卒業課題研究プレゼミ 研究プロポーザル(資源政策) 卒業課題研究(資源政策)							
専	准教授	千代延 俊	平成26年4月	初年次ゼミ 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 地質図学 石油地質学Ⅰ 石油地質学Ⅱ 石油探査学 石油鉱床学実験 専門プレゼンテーション技法(資源地球科学) 地質調査法実習A 進級論文 研究プロポーザル(資源地球科学) 卒業課題研究(資源地球科学) 地質調査法実習B							

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	山崎 誠	平成26年4月	初年次ゼミ 地球科学概論 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 地史学 古生物学実験 地史解析学実験 資源地球科学文献講読Ⅰ 専門プレゼンテーション技法(資源地球科学) 地質調査法実習A 進級論文 研究プロポーザル(資源地球科学) 卒業課題研究(資源地球科学) 地質調査法実習B						
専	准教授	山元 正継	平成26年4月	初年次ゼミ 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 岩石学Ⅱ 応用岩石学 専門プレゼンテーション技法(資源地球科学) 地質調査法実習A 進級論文 研究プロポーザル(資源地球科学) 卒業課題研究(資源地球科学) 地質調査法実習B						
専	准教授	小川 泰正	平成26年4月	初年次ゼミ 基礎化学Ⅲ 資源開発環境学概論 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 分析化学 工学基礎実験 資源開発環境実験Ⅰ 資源開発環境実験Ⅱ 資源開発環境文献講読 専門プレゼンテーション技法(資源開発環境) 研究プロポーザル(資源開発環境) 卒業課題研究(資源開発環境)						
専	准教授	木崎 彰久	平成26年4月	初年次ゼミ 資源開発環境学概論 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 岩石力学 工学基礎実験 資源開発環境実験Ⅰ 資源開発環境実験Ⅱ 資源開発環境文献講読 専門プレゼンテーション技法(資源開発環境) 研究プロポーザル(資源開発環境) 卒業課題研究(資源開発環境)						
専	准教授	筒井 智樹	平成26年4月	初年次ゼミ 資源開発環境学概論 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 物理探査学Ⅰ 工学基礎実験 資源開発環境実験Ⅰ 資源開発環境実験Ⅱ 資源開発環境文献講読 専門プレゼンテーション技法(資源開発環境) 研究プロポーザル(資源開発環境) 卒業課題研究(資源開発環境)						
専	講師	西川 治	平成26年4月	初年次ゼミ 基礎物理学(資源政策) 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 構造地質学 専門プレゼンテーション技法(資源地球科学) 地質調査法実習A 進級論文 研究プロポーザル(資源地球科学) 卒業課題研究(資源地球科学) 地質調査法実習B						
専	助教	Shatunova Olesya	平成26年4月	初年次ゼミ I-EAPⅠ I-EAPⅡ I-EAPⅢ I-EAPⅣ I-EAPⅤ I-EAPⅥ ディスカッション演習 ディベート演習 専門プレゼンテーション技法(資源政策)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
						専任 助教	Jason Tacker	平成26年4月	初年次ゼミ I-EAP I I-EAP II I-EAP III I-EAP IV I-EAP V I-EAP VI ディスカッション演習 ディベート演習 専門プレゼンテーション技法(資源政策)	英語教育の充実のため教員を追加 平成26年1月教員審査済(26)
専	助教	高橋 亮平	平成26年4月	初年次ゼミ 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク X線結晶学 応用金属鉱床学 金属鉱床学実験 岩石鉱物鉱床実験 資源地球科学文献講読Ⅱ 専門プレゼンテーション技法(資源地球科学) 地質調査法実習A 進級論文 研究プロポーザル(資源地球科学) 卒業課題研究(資源地球科学) 地質調査法実習B						
専	助教	星出 隆志	平成26年4月	初年次ゼミ 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 岩石学実験 岩石鉱物鉱床実験 専門プレゼンテーション技法(資源地球科学) 地質調査法実習A 進級論文 研究プロポーザル(資源地球科学) 卒業課題研究(資源地球科学) 地質調査法実習B						
専	助教	尾西 恭亮	平成26年4月	初年次ゼミ 資源開発環境学概論 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 計算機プログラミング 工学基礎実験 資源開発環境実験Ⅰ 資源開発環境実験Ⅱ 資源開発環境文献講読 専門プレゼンテーション技法(資源開発環境) 研究プロポーザル(資源開発環境) 卒業課題研究(資源開発環境)						
専	助教	坂中 伸也	平成26年4月	初年次ゼミ 基礎物理学Ⅱ 資源開発環境学概論 資源学実習 国際資源クリエイティブ演習 海外資源フィールドワーク 物理探査学Ⅱ 工学基礎実験 資源開発環境実験Ⅰ 資源開発環境実験Ⅱ 資源開発環境文献講読 専門プレゼンテーション技法(資源開発環境) 研究プロポーザル(資源開発環境) 卒業課題研究(資源開発環境)						
兼任	教授	上田 由紀子	平成26年4月	I-EAP I I-EAP II						
兼任	教授	Morita Emma Simona	平成26年4月	I-EAP I I-EAP II						
兼任	教授	麻生 節夫	平成26年4月	材料の世界※ 金属材料工学概論						
兼任	教授	五十嵐 隆治	平成26年4月	情報工学の世界 応用物理学概論 数値計算						
兼任	教授	石尾 俊二	平成26年4月	品質管理						
兼任	教授	今野 和彦	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	教授	小原 仁	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	教授	河上 肇	平成26年4月	確率統計						
兼任	教授	倉林 徹	平成26年4月	電子工学概論 電気・電子実験						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	鈴木 雅史	平成26年4月	電気工学概論 電気・電子実験						
兼任	教授	田島 克文	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	教授	堀口 誠二	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	教授	山村 明弘	平成26年4月	基礎数学Ⅳ	兼任	教授	河上 肇	平成26年4月	基礎数学Ⅳ	カリキュラム編成調整による担当教員の変更(26)
兼任	教授	増田 信行	平成26年4月	資源開発生産論						
兼任	准教授	山口 祥司	平成26年4月	基礎数学Ⅴ	兼任	准教授	山口一祥司	平成26年4月	基礎数学Ⅴ	カリキュラム編成調整による担当教員の変更(26)
兼任	准教授	熊谷 誠治	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	准教授	小林 真人	平成26年4月	基礎数学Ⅲ	兼任	講師	Fazekas Szilard Zsolt	平成26年4月	基礎数学Ⅲ	カリキュラム編成調整による担当教員の変更(26)
兼任	准教授	佐藤 正志	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	准教授	佐藤 祐一	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	准教授	田中 元志	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	准教授	橋本 仁	平成26年4月	数理計画法						
兼任	准教授	布田 潔	平成26年4月	物質情報処理学						
兼任	准教授	三浦 武	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	准教授	山口 邦彦	平成26年4月	応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ						
兼任	准教授	山口 留美子	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	准教授	菅原 透	平成26年4月	地球化学Ⅱ						
兼任	准教授	高崎 康志	平成26年4月	素材開発工学						
兼任	准教授	別所 昌彦	平成26年4月	粉体・界面工学						
兼任	准教授	Checketts Randy Kay	平成26年4月	文系英会話 I-EAPⅢ I-EAPⅣ I-EAPⅤ I-EAPⅥ						
兼任	助教	Kabir Mahmudul	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	講師	萱野 良樹	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	講師	河村 希典	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	講師	福田 誠	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	助教	高橋 秋典	平成26年4月	コンピュータアーキテクチャ						
兼任	助教	西平 守正	平成26年4月	電気・電子実験						
兼任	助教	松尾 健史	平成26年4月	電気・電子実験 制御システム工学						
兼任	助教	淀川 信一	平成26年4月	電子工学概論 電気・電子実験						
兼任	助教	緒方 武幸	平成26年4月	鉱物学実験						
兼任	助教	Grafstrom Ben	平成26年4月	文系英会話 I-EAPⅢ I-EAPⅣ I-EAPⅤ I-EAPⅥ				平成26年4月	文系英会話 I-EAPⅢ I-EAPⅣ I-EAPⅤ I-EAPⅥ 英語特別演習	内容の充実を図るため担当教員を追加(26)
兼任	講師	泉 泰雄	平成26年4月	人的資源管理論						
兼任	講師	井龍 康文	平成26年4月	炭酸塩岩調査法						
兼任	講師	大沼 巧	平成26年4月	リモートセンシング地質学						
兼任	講師	岡田 尚美	平成26年4月	国際協力特別講義						
兼任	講師	小野寺 英輝	平成26年4月	技術史						
兼任	講師	折田 仁典	平成26年4月	測量学および実習Ⅰ						
兼任	講師	加賀屋 弘子	平成26年4月	基礎数学Ⅰ				平成26年4月	基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅴ	カリキュラム編成調整による担当科目の追加(26)
兼任	講師	河合 展夫	平成26年4月	オペレーションリスクマネジメントⅠ-HSE- オペレーションリスクマネジメントⅡ-危機管理学-						
兼任	講師	小松 順一	平成26年4月	防災地質学						
兼任	講師	Jenz Gutsmer	平成26年4月	資源地球科学特別講義Ⅱ						
兼任	講師	菅原 征洋	平成26年4月	機械工学概論Ⅰ						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	Sudarto Notosiswoyo	平成26年4月	資源開発環境学特別講義Ⅳ						
兼任	講師	対馬 雅己	平成26年4月	測量学および実習Ⅱ						
兼任	講師	土田 一	平成26年4月	熱工学						
兼任	講師	恒松 良純	平成26年4月	工業製図						
兼任	講師	中野 孝教	平成26年4月	資源開発環境学特別講義Ⅰ						
兼任	講師	中村 崇	平成26年4月	資源開発環境学特別講義Ⅱ						
兼任	講師	成田 文雄	平成26年4月	基礎数学Ⅱ	兼任	講師	中江 康晴	平成26年4月	基礎数学Ⅱ	カリキュラム編成調整による担当教員の変更(26)
兼任	講師	西田 純	平成26年4月	資源政策特別講義Ⅰ 資源政策特別講義Ⅱ						
兼任	講師	Philips, John Edward	平成26年4月	資源地域研究特別講義						
兼任	講師	藤田 豊久	平成26年4月	リサイクルシステム学						
兼任	講師	村上 進亮	平成26年4月	資源循環学						
兼任	講師	村田 健司	平成26年4月	火薬学						
兼任	講師	茂木 伸一	平成26年4月	鉱業史						
兼任	講師	山崎 幸治	平成26年4月	開発経済学特別講義						
兼任	講師	Ralf Schiebel	平成26年4月	資源地球科学特別講義Ⅰ						
兼任	講師	Rudy Sayoga Gautama	平成26年4月	資源開発環境学特別講義Ⅲ						
兼任可				社会調査法Ⅱ			後任未定			科目開設時までに教員を選考予定(26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

5 教員組織の状況

<共通>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	阿部 昇	平成26年4月	日本語リテラシー I						
兼任	教授	池村 好道	平成26年4月	日本国憲法 現代社会と法						
兼任	教授	石黒 純一	平成26年4月	衣生活の科学						
兼任	教授	井上 正鉄	平成26年4月	秋田の自然と文化※						
兼任	教授	岩田 吉弘	平成26年4月	自然環境と資源 I 生命と健康 II※						
兼任	教授	上田 晴彦	平成26年4月	星の世界						
兼任	教授	内海 淳	平成26年4月	障害と共生 I						
兼任	教授	大城 英名	平成26年4月	障害と共生 II						
兼任	教授	大橋 純一	平成26年4月	日本語表現の諸相						
兼任	教授	奥山 順子	平成26年4月	教育学 II						
兼任	教授	勝守 真	平成26年4月	科学史・科学哲学						
兼任	教授	川東 雅樹	平成26年4月	教養ゼミナール 1 (現代社会) 教養ゼミナール 2 (現代社会) 教養ゼミナール 1 (人間と文化) 教養ゼミナール 2 (人間と文化) 教養ゼミナール 1 (科学の探究) 教養ゼミナール 2 (科学の探究) 教養ゼミナール 1 (生活と保健) 教養ゼミナール 2 (生活と保健) 教養ゼミナール 1 (地域社会) 教養ゼミナール 2 (地域社会) 教養ゼミナール 1 (技能の活用) 教養ゼミナール 2 (技能の活用) 秋田大学論	兼任	教授	長谷川 仁志	平成26年4月	教養ゼミナール 1 (現代社会) 教養ゼミナール 2 (現代社会) 教養ゼミナール 1 (人間と文化) 教養ゼミナール 2 (人間と文化) 教養ゼミナール 1 (科学の探究) 教養ゼミナール 2 (科学の探究) 教養ゼミナール 1 (生活と保健) 教養ゼミナール 2 (生活と保健) 教養ゼミナール 1 (地域社会) 教養ゼミナール 2 (地域社会) 教養ゼミナール 1 (技能の活用) 教養ゼミナール 2 (技能の活用) 秋田大学論	責任教員の交代による担当教員の変更(26)
				現代社会と経済	兼任	教授	長谷川 仁志	平成26年4月	現代社会と経済 II	責任教員の交代による担当教員の変更(26) カリキュラム編成調整による科目名称の変更(26)
				ドイツ語 I ドイツ語 II						
兼任	教授	佐藤 修司	平成26年4月	教育学 I						
兼任	教授	佐藤 靖	平成26年4月	スポーツ実技 I スポーツ理論 I スポーツ理論 II						
兼任	教授	三戸 範之	平成26年4月	スポーツ実技 I スポーツ実技 II スポーツ理論 I スポーツ理論 II						
兼任	教授	志立 正知	平成26年4月	日本の古典文学						
兼任	教授	篠原 秀一	平成26年4月	地理と地誌 I						
兼任	教授	柴田 健	平成26年4月	心理学 II						
兼任	教授	高崎 裕治	平成26年4月	スポーツ実技 I スポーツ理論 I スポーツ理論 II						
兼任	教授	高田 知恵子	平成26年4月	臨床心理学外国語文献演習						
兼任	教授	立花 希一	平成26年4月	倫理と人間						
兼任	教授	長澤 光雄	平成26年4月	スポーツ理論 I	兼任	教授	長澤 光雄	平成26年4月	スポーツ理論 I	カリキュラム編成調整による担当教員の変更(26)
				スポーツ実技 II				平成26年4月	スポーツ実技 II スポーツ理論 II	兼任教員担当科目を兼任教員に変更したことによる担当科目の追加(26)
兼任	教授	長沼 誠子	平成26年4月	地域と食文化						
兼任	教授	成田 雅樹	平成26年4月	文学論 日本語リテラシー I※						
兼任	教授	長谷川 章	平成26年4月	ロシア語 I ロシア語 II ロシア語会話 I ロシア語会話 II	兼任	講師	Nezamutdinov Victor	平成26年4月	ロシア語会話 I ロシア語会話 II	母語話者教員の指導による授業を行うため担当教員を変更(26)
				天体観測入門						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	林 良雄	平成26年4月	コンピュータの科学						
兼任	教授	森 和彦	平成26年4月	発達心理学外国語文献演習 認知心理学外国語文献演習						
兼任	教授	森田 信博	平成26年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ理論Ⅰ スポーツ理論Ⅱ						
兼任	教授	渡部 育子	平成26年4月	男女共同参画社会論						
兼任	教授	渡辺 英夫	平成26年4月	秋田の歴史						
兼任	教授	浅沼 義博	平成26年4月	医学と健康Ⅲ※ がん医療と緩和ケア※	兼任	教授	浅沼—義博	平成26年4月	医学と健康Ⅲ※ がん医療と緩和ケア※	平成26年3月退職(26)
兼任	教授	石井 範子	平成26年4月	倫理リテラシー※ 生命と健康Ⅱ※	兼任	教授	石井—範子	平成26年4月	倫理リテラシー※	カリキュラム編成調整による 担当教員の変更(26)
兼任	教授	石川 隆志	平成26年4月	医学と健康Ⅳ※						
兼任	教授	伊藤 登茂子	平成26年4月	がん医療と緩和ケア※						
兼任	教授	大友 和夫	平成26年4月	医学と健康Ⅳ※						
兼任	教授	岡田 恭司	平成26年4月	医学と健康Ⅳ※						
兼任	教授	工藤 俊輔	平成26年4月	医学と健康Ⅳ※						
兼任	教授	兒玉 英也	平成26年4月	がん医療と緩和ケア※						
兼任	教授	後藤 明輝	平成26年4月	医学と健康Ⅰ※						
兼任	教授	塩谷 隆信	平成26年4月	医学と健康Ⅳ※						
兼任	教授	柴田 浩行	平成26年4月	生命と健康Ⅰ※						
兼任	教授	清水 徹男	平成26年4月	生命と健康Ⅰ※ 秋田の自然と文化※ 情報と知識・技術Ⅰ						
兼任	教授	進藤 伸一	平成26年4月	医学と健康Ⅳ※						
兼任	教授	杉山 俊博	平成26年4月	資源循環と科学※	兼任	准教授	久場 敬司	平成26年4月	資源循環と科学※	平成26年3月 杉山 俊博教授退職による担 当教員の変更(26)
兼任	教授	鈴木 圭子	平成26年4月	医学と健康Ⅲ※						
兼任	教授	妹尾 春樹	平成26年4月	秋田の自然と文化※						
兼任	教授	寺田 幸弘	平成26年4月	医学と健康Ⅱ※						
兼任	教授	中村 順子	平成26年4月	医学と健康Ⅲ※						
兼任	教授	新山 喜嗣	平成26年4月	医学と健康Ⅳ※						
兼任	教授	橋本 学	平成26年4月	生命と健康Ⅰ※						
兼任	教授	美作 宗太郎	平成26年4月	医学と健康Ⅰ※						
兼任	教授	村田 勝敬	平成26年4月	生命と健康Ⅱ※						
兼任	教授	湯浅 孝男	平成26年4月	医学と健康Ⅳ※						
兼任	教授	古富 健志	平成26年4月	生命と健康Ⅰ※						
兼任	教授	麻生 節夫	平成26年4月	材料の世界※ 金属材料工学概論						
兼任	教授	五十嵐 隆治	平成26年4月	情報工学の世界 応用物理学概論 数値計算						
兼任	教授	及川 洋	平成26年4月	環境と社会※						
兼任	教授	小玉 展宏	平成26年4月	材料の世界※						
兼任	教授	後藤 猛	平成26年4月	生命と健康Ⅱ※						
兼任	教授	齊藤 準	平成26年4月	資源循環と科学※						
兼任	教授	菅原 勝康	平成26年4月	資源循環と科学※						
兼任	教授	坪井 ひろみ	平成26年4月	倫理リテラシー※	兼任	教授	坪井—ひろみ	平成26年4月	倫理リテラシー※	カリキュラム編成調整による 担当教員の変更(26)
兼任	教授	林 滋生	平成26年4月	資源循環と科学※ 生命と健康Ⅱ※						
兼任	教授	原 基	平成26年4月	材料の世界※						
兼任	教授	松富 英夫	平成26年4月	環境と社会※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	菅原 良	平成26年4月	キャリアデザイン基礎 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザイン総論						
兼任	教授	銭谷 秋生	平成26年4月	倫理リテラシー※ 日本語リテラシーⅡ※						
兼任	教授	苗村 育郎	平成26年4月	大学生と健康※						
					兼任	教授	川村 教一	平成26年4月	科学教育文献講読	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
兼任	准教授	石井 宏一	平成26年4月	情報デザイン入門						
兼任	准教授	石井 照久	平成26年4月	ライフサイエンスⅠ						
兼任	准教授	石沢 真貴	平成26年4月	社会と家族 秋田の自然と文化※						
兼任	准教授	和泉 浩	平成26年4月	社会と地域						
兼任	准教授	池本 敦	平成26年4月	食と健康						
兼任	准教授	伊藤 恵造	平成26年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ理論Ⅰ スポーツ理論Ⅱ						
兼任	准教授	内田 昌功	平成26年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	兼任	講師	羽田 朝子	平成26年4月	中国語Ⅱ	カリキュラム編成調整による担当教員の変更(26)
兼任	准教授	河又 邦彦	平成26年4月	ライフサイエンスⅡ						
兼任	准教授	北島 正人	平成26年4月	心理学Ⅱ						
兼任	准教授	佐々木 重雄	平成26年4月	コンピュータの科学						
兼任	准教授	佐々木 千佳	平成26年4月	芸術と文化Ⅲ						
兼任	准教授	佐藤 猛	平成26年4月	欧米の歴史						
兼任	准教授	清野 秀岳	平成26年4月	自然環境と資源Ⅱ						
兼任	准教授	高橋 さち子	平成26年4月	マクロ経済学入門						
				朝鮮語Ⅰ						
				朝鮮語Ⅱ	兼任	講師	佐々木 真砂子	平成26年4月	朝鮮語Ⅱ	異文化理解のため韓国・朝鮮の文化に精通した教員に変更(26)
兼任	准教授	高村 竜平	平成26年4月	朝鮮語会話Ⅰ 朝鮮語会話Ⅱ 実践朝鮮語会話Ⅰ 実践朝鮮語会話Ⅱ	兼任	講師	金 京淑	平成26年4月	朝鮮語会話Ⅰ 朝鮮語会話Ⅱ	母語話者教員の指導による授業を行うため担当教員を変更(26)
					兼任	講師	金 孝卿	平成26年4月	実践朝鮮語会話Ⅰ 実践朝鮮語会話Ⅱ	母語話者教員の指導による授業を行うため担当教員を変更(26)
兼任	准教授	武内 恵美子	平成26年4月	芸術と文化Ⅰ 芸術と文化Ⅱ	兼任	准教授	武内一恵美子	平成26年4月	芸術と文化Ⅰ 芸術と文化Ⅱ	平成26年3月退職(26)
兼任	准教授	辻野 稔哉	平成26年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ						
兼任	准教授	中野 良樹	平成26年4月	心理学Ⅰ 生理心理学外国語文献講読Ⅰ 生理心理学外国語文献講読Ⅱ						
兼任	准教授	西川 竜二	平成26年4月	自然環境と住まい						
兼任	准教授	林 武司	平成26年4月	地理と地誌Ⅱ						
兼任	准教授	松本 奈緒	平成26年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ理論Ⅰ スポーツ理論Ⅱ						
兼任	准教授	山崎 義光	平成26年4月	日本の近代文学						
兼任	准教授	安藤 秀明	平成26年4月	がん治療※ 外科手術と手術機器の進化※		教授		平成26年4月	がん治療※ 外科手術と手術機器の進化※ 医学と健康Ⅲ※ がん医療と緩和ケア※	昇任による職名の変更(26) 平成26年3月 浅沼 義博教授退職による担当科目の追加(26)
兼任	准教授	大森 泰文	平成26年4月	医学と健康Ⅰ※		教授		平成26年4月		昇任による職名の変更(26)
兼任	准教授	熊谷 仁	平成26年4月	医学と健康Ⅱ※						
兼任	准教授	煙山 晶子	平成26年4月	がん医療と緩和ケア※						
兼任	准教授	佐々木 久長	平成26年4月	人間関係論Ⅰ 人間関係論Ⅱ 人権と共生						
兼任	准教授	佐竹 将宏	平成26年4月	医学と健康Ⅳ※						
兼任	准教授	百田 芳春	平成26年4月	医学と健康Ⅲ※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	山口 典子	平成26年4月	医学と健康Ⅲ※ がん医療と緩和ケア※						
兼任	准教授	佐藤 朗	平成26年4月	医学と健康Ⅱ※						
兼任	准教授	南條 博	平成26年4月	医学と健康Ⅰ※ がん治療※						
兼任	准教授	荻野 俊寛	平成26年4月	環境と社会※						
兼任	准教授	徳重 英信	平成26年4月	環境と社会※	教授			平成26年4月		昇任による職名の変更(26)
兼任	准教授	橋本 仁	平成26年4月	数理計画法						
兼任	准教授	瀧岡 秀勝	平成26年4月	環境と社会※						
兼任	准教授	日野 智	平成26年4月	環境と社会※						
兼任	准教授	吉村 哲	平成26年4月	資源循環と科学※						
兼任	准教授	水田 敏彦	平成26年4月	防災学基礎Ⅰ 防災学基礎Ⅱ	兼任 准教授	鎌滝 孝信		平成26年4月	防災学基礎Ⅰ	カリキュラム編成調整担当教員の変更(26)
兼任	准教授	辻 高明	平成26年4月	フィールド情報学入門	教授			平成26年4月		昇任による職名の変更(26)
兼任	准教授	Checketts Randy Kay	平成26年4月	文系英会話 I-EAPⅢ I-EAPⅣ I-EAPⅤ I-EAPⅥ						
兼任	准教授	細川 和仁	平成26年4月	大学生活と学習						
兼任	准教授	牲川 波都季	平成26年4月	多文化コミュニケーション入門Ⅰ 多文化コミュニケーション入門Ⅱ 日本文化入門Ⅰ 海外短期研修 日本語2 日本語5-V 日本語5-VI 日本社会入門Ⅰ 日本語5-VII 日本文化入門Ⅱ 日本社会入門Ⅱ 日本語5-VIII 留学生のための課題研究Ⅰ 留学生のための課題研究Ⅱ 日本語1 日本語4-I 日本語4-II 日本語5-I 日本語5-II	兼任 助教	佐々木 良造		平成26年4月	多文化コミュニケーション入門Ⅰ 多文化コミュニケーション入門Ⅱ 日本文化入門Ⅰ 海外短期研修 日本語2 日本語5-V 日本語5-VI	平成26年3月 牲川 波都季准教授退職による担当教員の変更(26)
兼任	准教授	牲川 波都季	平成26年4月	日本語5-VII 日本語5-VIII 留学生のための課題研究Ⅰ 留学生のための課題研究Ⅱ 日本語1 日本語4-I 日本語4-II 日本語5-I 日本語5-II	兼任 講師	佐藤 雅彦		平成26年4月	日本社会入門Ⅰ 日本語5-VII	平成26年3月 牲川 波都季准教授退職による担当教員の変更(26)
兼任	准教授	小林 政雄	平成26年4月	大学生と健康※						
兼任	講師	小野寺 倫子	平成26年4月	くらしと法 日本国憲法						
兼任	講師	清水 貴裕	平成26年4月	心理学Ⅱ 社会心理学外国語文献演習		准教授		平成26年4月		昇任による職名の変更(26)
兼任	講師	永田 美奈加	平成26年4月	医学と健康Ⅲ※						
兼任	講師	渡邊 知子	平成26年4月	がん医療と緩和ケア※						
兼任	講師	石橋 和幸	平成26年4月	外科手術と手術機器の進化※	兼任 教授	南谷 佳弘		平成26年4月	外科手術と手術機器の進化※	カリキュラム編成調整による担当教員の変更(26)
兼任	講師	齊藤 元	平成26年4月	外科手術と手術機器の進化※	准教授			平成26年4月		昇任による職名の変更(26)
兼任	講師	佐藤 直樹	平成26年4月	医学と健康Ⅱ※						
兼任	講師	大川 浩一	平成26年4月	資源循環と科学※						
兼任	講師	小笠原 正剛	平成26年4月	化学の世界※						
兼任	講師	松本 和也	平成26年4月	化学の世界※						
兼任	講師	濱田 陽	平成26年4月	英語特別演習				平成26年4月	英語特別演習 文系英会話	内容の充実を図るため担当教員を追加(26)
					兼任 講師	荒井 壮一		平成26年4月	現代社会と経済Ⅰ	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
					兼任 講師	瀬尾 知子		平成26年4月	教育学Ⅱ	内容の充実を図るため担当教員を追加(26)
					兼任 講師	中澤 俊輔		平成26年4月	現代社会と政治	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
					兼任 講師	長岡 真希子		平成26年4月	医学と健康Ⅲ※	内容の充実を図るため担当教員を追加(26)
兼任	助教	上村 佐知子	平成26年4月	医学と健康Ⅳ※						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	助教	久米 裕	平成26年4月	医学と健康Ⅳ※						
兼任	助教	小泉 幸央	平成26年4月	秋田の自然と文化※						
兼任	助教	清水 大	平成26年4月	医学と健康Ⅱ※						
兼任	助教	高階 淳子	平成26年4月	がん医療と緩和ケア※						
兼任	助教	高橋 恵一	平成26年4月	医学と健康Ⅳ※						
兼任	助教	津軽谷 恵	平成26年4月	医学と健康Ⅳ※						
兼任	助教	若狭 正彦	平成26年4月	医学と健康Ⅳ※						
兼任	助教	大場 麗奈	平成26年4月	秋田の自然と文化※	兼任	助教	小泉 重仁	平成26年4月	秋田の自然と文化※	カリキュラム編成調整による担当教員の変更(26)
兼任	助教	草薙 宏明	平成26年4月	大学生と健康※	兼任	講師		平成26年4月		本学退職による所属の変更(26)
兼任	助教	齊藤 英知	平成26年4月	生命と健康Ⅰ※						
兼任	助教	佐藤 敏治	平成26年4月	医学と健康Ⅱ※ 大学生と健康※	兼任	准教授	佐藤 朗	平成26年4月	大学生と健康※	カリキュラム編成調整による担当教員の変更(26)
兼任	助教	三浦 広志	平成26年4月	医学と健康Ⅱ※	兼任	助教	佐藤 恵	平成26年4月	医学と健康Ⅱ※	平成26年3月 三浦 広志助教退職による担当教員の変更(26)
兼任	助教	高橋 秋典	平成26年4月	コンピュータアーキテクチャ						
兼任	助教	淀川 信一	平成26年4月	電子工学概論 電気・電子実験						
兼任	助教	市嶋 典子	平成26年4月	日本語教育学入門Ⅰ 日本語教育学入門Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅲ総合 日本語Ⅳ-V 日本語Ⅳ-VI	兼任	准教授		平成26年4月		昇任による職名の変更(26)
				日本語Ⅰ 日本語Ⅱ総合	兼任	准教授	市嶋—典子	平成26年4月	留学生のための課題研究Ⅰ 留学生のための課題研究Ⅱ	平成26年3月 市嶋 准教授退職による担当科目の追加
				日本語Ⅱ 日本語Ⅴ-Ⅲ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ-Ⅲ 日本語Ⅳ-Ⅳ 日本語Ⅴ-Ⅸ 日本語Ⅴ-X 日本語Ⅴ-Ⅳ	兼任	講師	佐藤 雅彦	平成26年4月	日本語Ⅱ 日本語Ⅴ-Ⅲ	平成26年3月 楊 帆助教退職による担当教員の変更(26)
					兼任	助教	平田 未季	平成26年4月	日本語Ⅲ	平成26年3月 楊 帆助教退職による担当教員の変更(26)
					兼任	助教	佐々木 良造	平成26年4月	日本語Ⅳ-Ⅲ 日本語Ⅳ-Ⅳ 日本語Ⅴ-Ⅸ 日本語Ⅴ-X	平成26年3月 楊 帆助教退職による担当教員の変更(26)
							後任未定			平成26年3月 楊 帆助教退職(26) 平成26年10月の授業に向け学内で選考中
					兼任	助教	伊藤 亜樹	平成26年4月	外科手術と手術機器の進化※	内容の充実を図るため担当教員を追加(26)
					兼任	助教	熊澤 由紀代	平成26年4月	医学と健康Ⅱ※	内容の充実を図るため担当教員を追加(26)
					兼任	助教	藤田 智恵	平成26年4月	医学と健康Ⅲ※	内容の充実を図るため担当教員を追加(26)
兼任	講師	Adcock Ronald Warren	平成26年4月	理系英会話						
兼任	講師	市原 利晃	平成26年4月	がん治療※						
兼任	講師	内山 応信	平成26年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ						
兼任	講師	円山 啓司	平成26年4月	大学生と健康※						
兼任	講師	栗城 宏	平成26年4月	日本語リテラシーⅡ※ コミュニケーショントレーニング						
兼任	講師	後藤 優子	平成26年4月	大学生と健康※						
兼任	講師	佐藤 誠	平成26年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ						
兼任	講師	重川 敬三	平成26年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ理論Ⅰ スポーツ理論Ⅱ	兼任	講師	重川—敬三	平成26年4月	スポーツ理論Ⅱ	カリキュラム編成調整による担当教員の変更(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	Janson Michel	平成26年4月	フランス語会話Ⅰ フランス語会話Ⅱ						
兼任	講師	武村 尊生	平成26年4月	大学生と健康※	兼任	助教	筒井 幸	平成26年4月	大学生と健康※	カリキュラム編成調整による担当教員の変更(26)
兼任	講師	内藤 裕子	平成26年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ						
兼任	講師	中村 正明	平成26年4月	がん治療※						
兼任	講師	畠山 民栄	平成26年4月	日本語リテラシーⅡ※						
兼任	講師	星野 満博	平成26年4月	情報と知識・技術Ⅱ						
兼任	講師	松田 紗代子	平成26年4月	実践中国語会話Ⅰ 実践中国語会話Ⅱ				平成26年4月	実践中国語会話Ⅰ 実践中国語会話Ⅱ 中国語Ⅰ	複数クラス開講するため担当教員を追加(26)
兼任	講師	楊 国萍	平成26年4月	中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ				平成26年4月	中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ 中国語Ⅰ	複数クラス開講するため担当教員を追加(26)
					兼任	講師	相馬 高道	平成26年4月	日本語リテラシーⅠ※	内容の充実を図るため担当教員を追加(26)
					兼任	講師	張 雅麗	平成26年4月	中国語Ⅰ	複数クラス開講するため担当教員を追加(26)
					兼任	講師	渡辺 哲	平成26年4月	日本語リテラシーⅡ※	内容の充実を図るため担当教員を追加(26)

(注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
17	11	1	5	34	17	10	1	6	34	65	0
(17)	(11)	(1)	(5)	(34)	[0]	[△1]	[0]	[1]	[0]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	Assmann Stephanie	平成26年3月31日付け 他大学へ転出

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

Assmann Stephanie 准教授の担当授業科目のうち、平成26年度前期の開講科目（ドイツ語Ⅰ、ドイツ語会話Ⅰ）は兼任教員が担当している。平成26年度後期以降の開講科目についても後任を補充予定のため、履修等への影響はない。
学生に対しては、教養基礎教育学習ガイドへの記載や、総合学務システム「a-net」上での掲示により、十分な周知を行った。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>設 置 時 (26年4月)</p>	<p>1. 学生の英語教育における入学時の学力及び年次ごとの到達目標が示されているが、すべての学生が目標を達成し、英語能力の向上が図られているか、定期的（例えば1年ごと）に分析・評価するとともに、その結果をフィードバックし、必要に応じて改善するように努めること。また、海外資源フィールドワークを実施する3年次の当初に行う英語能力に関する試験について、到達目標（TOEICスコア：730点レベル）に対する学生の英語能力を判定する際の基準や、審査方法をあらかじめ明確に示した上で、学生に周知すること。</p>	<p>英語能力を確認するためにTOEICを年2回（7月・2月）実施し、その結果を学生にフィードバックする。 海外資源フィールドワークを実施する3年次の当初に行う英語能力に関する試験は、TOEICを利用し、原則730点以上を派遣の基準にしている。基準に達しない学生には、補講を行うほか、効果的な自主学習を指導し、レベルの引き上げを行う。最終的には、派遣希望先における必要能力条件を考慮しつつ、担当教員との英語等による面談により決定する。英語能力の判定基準や審査方法は、学生に授業時等で周知した。（26）</p>	
	<p>2. 海外資源フィールドワークを支障なく実施するために、大学としての責任体制を明確にした上で、学生の安全面に対する最大限の配慮や、フィールドワークの質の担保の観点から、担当教員の現地への派遣等を含めた対応を着実に行うように努めること。</p>	<p>学生が海外において生命、身体、財産の安全を脅かすような危機事象に遭遇した場合に備え、「秋田大学における海外派遣に関する安全管理・対応要項」により責任体制を明確にし、学生に対する安全配慮義務を組織的、かつ効率的に遂行出来るようにしている。 フィールドワーク先の安全性や質の担保のため、派遣先の企業や研究機関の現地アドバイザーと綿密な打ち合わせを重ねている。また、必要に応じて教員が事前に現地へ赴き生活環境や研修内容を確認している。 学生には派遣前に安全対策オリエンテーションを実施するほか、必要に応じて教員もフィールドワークに同行する。（26）</p>	<p>学生の安全を確保し、海外資源フィールドワークを支障なく実施するため「海外資源フィールドワーク安全対策マニュアル（仮）」の作成を検討している。（26）</p>
	<p>3. 教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時までに教員を補充すること。</p>	<p>当該授業科目を担当する教員の確保に向けて、準備を進めている。（26）</p>	<p>科目開設時までに担当教員を確保する（26）</p>

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<国際資源学部>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 教育推進総合センター教育開発部門会議</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年12回、 ・ 部門員16名（教育開発部門長、国際資源学部・医学系研究科・工学資源学研究科部門員各1名、教育推進総合センター専任教員5名、教育推進課事務職員6名） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学教育の実施・運営に関すること。 ・ カリキュラムの企画・立案等に関すること。 ・ 履修上の教育支援に関すること。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋田大学全学FDワークショップ ・ 教養基礎教育授業評価調査 ・ 教養基礎教育授業相互参観 ・ 教養基礎教育成績分布調査 ・ カリキュラムマップ ・ 諸調査（新入生アンケート、卒業予定者アンケート、教育成果の検証調査（卒業生とその就職先事業所へのアンケート）） <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋田大学全学FDワークショップ：8～9月に1泊2日で開催 ・ 教養基礎教育授業評価調査： 形式的評価調査は年2回、前期・後期の授業の中間期に実施
--

総括的評価調査は年2回、前期・後期の授業の最終日に実施

- ・教養基礎教育授業相互参観：前期は5月中旬～7月上旬にかけて、後期は10月下旬～12月中旬にかけて実施。教員が他の教員の授業を参観したうえでレポートを提出する。
- ・教養基礎教育成績分布調査：年2回（前期・後期成績決定後）
- ・カリキュラムマップ：年1回（カリキュラム決定後作成）
- ・諸調査：3年に1度実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・秋田大学全学FDワークショップ：平成25年9月3日～4日開催、
教員19名（学外教員4名含む）、学生16名が参加9月に1泊2日で開催
- ・教養基礎教育授業評価調査：
形式的評価調査は年2回、前期・後期の授業の中間期に実施
総括的評価調査は年2回、前期・後期の授業の最終日に実施
- ・教養基礎教育授業相互参観：前期は5月中旬～7月上旬にかけて、後期は10月下旬～12月中旬にかけて実施。教員が他の教員の授業を参観したうえでレポートを提出する。
- ・教養基礎教育成績分布調査：年2回（前期・後期成績決定後）
- ・カリキュラムマップ：年1回（カリキュラム決定後作成）
- ・諸調査：
新入生アンケート 直近の調査・・・23年度実施（24年度入学者対象）
卒業予定者アンケート 直近の調査・・・24年度実施（24年度卒業予定者対象）
教育成果の検証調査 直近の調査・・・23年度実施（19～21年度卒業生対象）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FDワークショップでは科目の到達目標や学習内容、シラバスの作成方法等について検討を行い、その結果を授業改善に反映させている。また、授業評価の結果を教員にフィードバックすることで、多用で客観的な意見を授業改善に取り入れている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期、後期ごとに授業評価を実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

評価結果は各教員に通知する。学生には総合学務システム「a-net」で評価の概要を公開する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目に記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
開設後1年目の状況は順調に進んでいる。
引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
・平成27年度以降
- b 公表方法
・大学で実施する自己点検・評価に基づき、各事業年度及び中期目標期間内における業務実績に係る「自己評価報告書」を作成しホームページ等で公表する。
- ③ 認証評価を受ける計画
・平成25年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を受けた。現在は次回の認証評価をうけるべく、学内で検討中である。

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成26年9月1日公表予定)

○秋田大学教育推進総合センター規程

(平成 16 年 4 月 1 日規則第 15 号)

(趣旨)

第 1 条 この規程は、秋田大学学則第 9 条第 2 項の規定に基づき、秋田大学教育推進総合センター(以下「センター」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第 2 条 センターは、秋田大学の理念と教育の目的に沿って、教養基礎教育を中心とする教育体制の構築と教育活動を推進し、調査・研究活動により教養基礎教育及び専門教育の改善・充実を図ることを目的とする。

(部門)

第 3 条 センターに、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる部門を置く。

- (1) 教育活動部門
- (2) 教育開発部門

(業務)

第 4 条 教育活動部門は、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 教養基礎教育を中心とする大学教育の実施・運営に関すること。
- (2) 教養基礎教育を中心とするカリキュラムの企画・立案等に関すること。
- (3) 履修上の教育支援に関すること。
- (4) その他教育活動に関すること。

2 教育開発部門は、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 教養基礎教育を中心とする教育内容・教育方法・教育環境に関する調査・研究・開発・評価に関すること。
- (2) 教育活動に関する FD 活動に関すること。
- (3) その他教育開発に関すること。

(組織)

第 5 条 センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) センター長
 - (2) 副センター長
 - (3) 部門長
 - (4) 専任教員
 - (5) 部門員
 - (6) 学外有識者
 - (7) その他必要な職員
- (センター長及び副センター長)

第6条 センター長は、教育担当理事をもって充て、センターを統括する。

2 副センター長は、教育推進主管をもって充て、センター長を補佐する。

(部門長)

第7条 第3条各号に掲げる部門(以下「部門」という。)に部門長を置き、部門の業務を統括する。

2 教育活動部門の部門長は、副センター長をもって充て、教育開発部門長は、第9条に掲げる部門員の教授のうちから、センター長の推薦に基づき、学長が委嘱する。

(専任教員の選考)

第8条 センターの専任教員(以下「専任教員」という。)の選考については、センターで候補者を公募・選出し、学長が決定する。

(部門員)

第9条 各部門の部門員は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) センター長が指名する教授 若干名

(2) 教育文化学部長、医学系研究科長及び工学資源学研究科長が推薦する当該学部等の教員 各1名

(3) センター長が指名する専任教員 若干名

(4) センター長が協力教員として指名する教員 若干名

(5) 教育推進課事務系職員 若干名

2 前項の部門員は、センター長が委嘱する。

3 前項の部門員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 前項の部門員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(学外有識者)

第10条 センターに、必要に応じ学外有識者を置くものとし、学外有識者は、各部門の業務に関し助言を行う。

2 学外有識者の選考は、センター長の意見を徴し、学長が行い、委嘱する。

(企画会議)

第11条 センターに、センターの運営に関する重要事項を審議するため、秋田大学教育推進企画会議(以下「企画会議」という。)を置く。

2 企画会議に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第12条 センターの事務は、教育推進課において処理する。

(補則)

第13条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、企画会議の議を経てセンター長が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行後最初に委嘱される第9条第1項第1号及び第2号の部門員6名のうち3名、同条第2項第1号の部門員のうち2名及び同条第3項第1号の部門員のうち各学部1名の任期については、同条第5項の規定にかかわらず、平成19年3月31日までとする。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年5月20日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成21年5月13日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成22年5月21日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年3月29日規則第15号)

この規程は、平成25年4月1日から施行する。